

2022.09.25. 聖書預言・アップデート

ストックホルム症候群

JD ファラグ牧師

今日は、「ストックホルム症候群」として知られるものについてお話したいと思います。特に、こんにち世界で起きていること全てをいかに不気味に、預言的に描写しているかを。ストックホルム症候群とは何か、そしてもっと重要なのは、なぜそれが起こるのかをいくつかの情報源から定義したものを、紹介という方法で読みたいと思います。ストックホルム症候群とは、人質が加害者に感情移入する、あるいは形成される心理現象のことで、継続的なストレスの結果、(聞いてください) 依存し、生存のため協力するという必要性です。囚われの身や虐待への対処法で、捕らわれた人は、捕らえた人の意図や要求を理解し、密接に同調し始める事です。この名前の由来は、スウェーデンのストックホルムで起きた銀行強盗の失敗談からです。1973年8月、4人の行員が金庫室で6日間人質になった事件で、こう着状態の中、人質と犯人の間に、一見奇妙な絆が生まれました。スウェーデン首相との電話で、人質の一人は

「犯人を完全に信頼しているが、警察による建物への攻撃で死ぬことが怖い」と述べました。

人質は救出されましたが、ダイナマイトを括りつけられるなどの脅迫や虐待を受けながら意外にも犯人を支持していました。驚くことに、人質の女性はその後、犯人のひとりとは婚約し、別の女性は犯人を支援するため法的防衛基金を設立しました。この症候群を研究している人々は考えます。犯人が人質の命を脅し、意識的に人質を殺さない選択をした当初に絆が生まれ、人質は、死の危険がなくなった安堵感を、犯人が命を与えてくれたという感謝に転化させる。この事件が証明する通り、この絆はわずか数日で固まり、早い段階で人質の願望を証明し、これをよく聞いてください。人質の生存欲求が、この状況を作った人間を憎む衝動より勝る。この症候群の根底には、生存本能があり、人質は強制的に依存させられて生きており、ひどい状況の中ごく稀に行われる親切な行為を、良い扱いだと解釈する。彼らはしばしば、犯人のニーズや要求に過敏になり、犯人の幸福と自分の幸福を心理的に結びつける。実にこの症候群は、犯人と人質間の肯定的な絆によって特徴づけられるだけでなく、犯人と人質の関係を脅かす警察当局に対し、犯人の代わりに否定的な態度を示す事もある。第三者に対抗するために利用する場合を除き、人質が犯人に何の役にも立たない場合、この否定的な態度は、特に強力だ。そして、最後に、再度よく聞いてください。ストックホルム症候群は、身体的または心理的幸福に対する重大な脅威を経験した時、発症する可能性がある。私の願いと祈りは、私たち全員が、今起こっている事の点と点を結びつけられるようにです。特に、こんにちの世界的タスク・マスター(監督者)に。悲しいことに、多くの公言するクリスチャンがこの考え方の餌食になっています。タスク・マスターが、彼らのあらゆる行動や生死までをも支配しています。ありがたいことに、彼らが支配するものではありません。神がなさいます。私たちは人を恐れるのではなく、人を恐れることは、主を畏れることよりも、奴隷になる畏です。イエスが「マタイの福音書10章」で仰っている事を聞いてください。26節から、

—マタイ 10:26—

ですから彼らを恐れてはいけません。おおわれているもので現されないものはなく、隠されているもので知られずにすむものはないからです。(待ちきれません)

—マタイ 10:27—

わたしが暗闇であなたがたに言うことを、明るみで言いなさい。あなたがたが耳もとで聞いたことを、屋上で言い広めなさい。

ーマタイ 10:28ー

からだを殺しても、たましいを殺せない者たちを恐れてはいけません。むしろ、たましいもからだもゲヘナ（地獄）で滅ぼすことができる方を恐れなさい。

ここに真理があります。私たちには救い主がおられます。その名はイエス。

イエスは私たちを地獄から救われます。そして罪と、この世の呪縛、肉、そして悪魔から解放してください。しかしながら、このような恐ろしい状況、今読んだ通り、私たちの肉体的・精神的幸福に対する大きな脅威が、日を追うごとに悪化し続けているように思われます。これを言う時の、私の心を聞いてください。最初は理解しにくく感じるかもしれませんが。

でも、もしも私が、「これは良い事だ」と言えば？

「ああ、やっぱり。牧師さん、あなた狂ってますよ。どうしちゃったんですか？」臨床名があるのは分かっていますよ。

でもこれは実は良い事です。その理由を説明します。最後まで聞いてください。

良い事だと言う理由は、イスラエルの民がエジプトの奴隷だった様に、エジプトは世の予型です。神が、民を、言わば犯人から解放下さる直前、耐え難いほど困難だったのです。「出エジプト記5章」10節から読みます。

ー出エジプト 5:10ー

そこで、この民の監督たちとかしらたちは出て行って、民に告げた。「ファラオはこう言われる。...

「ロックダウンに戻すぞ。」いえ、そうは言ってません。ー(笑)ー

ここで少し裏話をした方がいいかもしれませんね。モーセは神に命じられ、ファラオの所へ行き、ファラオに言います。

「わたしの民を去らせてください。」(出エジプト 5:1)

ファラオの答えは「あ〜、いいよ。」ではありません。ファラオの返答は、

「冗談か？彼らは不平不満を言っているのか？ 時間が余っているのだろう。それなら我々はこうする。彼らはその持て余した時間で、煉瓦を造るのに、自分たちで藁を集めるがよい。」(出エジプト 5:7 参照)

考古学者が発見した建造物の多くは、正にこのイスラエル人奴隷によって建てられたもので、レンガの質が変わり、レンガの組成が変わったのが分かります。考古学が聖書を証明するのは最高です。まだまだ続けられますが、しません。今日本当に話したいことから脱線してしまうからです。でも知ってますか？彼らは何かを見つけたら、掘り進む。掘るんですよ。考古学者は、文明を発見したいのです。「うわ〜何という物を発見したのか！どうすれば分かるのか。」「お〜私は知っている。聖書を見ればいい。」

とにかく、、、それについては、以上です。それでファラオは、イスラエルの民を去らせるどころか、彼らの労役をさらに重くします。民は、自分たちで藁を集めなければならなくなります。

「もうおまえたちに藁は与えない。見つけられるところへ行って取ってこい。」(出エジプト 5:10-11a)そして、さらにそれより悪くなります。「おまえたちの労役は、減らすことはしない。その日その日の仕事の割り当ては同じだ。文句を言うな。割り当ては、藁なしで同じだ。」(出エジプト 5:11b)

そういう言い方ではありませんでしたが、そういう事です。

ー出エジプト 5:12ー

そこで民はエジプト全土に散って、藁の代わりに刈り株を集めた。

一出エジプト 5:13-

監督（タスクマスター） たちは彼らをせき立てた。「藁があったときのように、その日その日の仕事を仕上げよ。」

一出エジプト 5:14-

ファラオの監督たちがこの民の上に立てた、イスラエルの子らのかしらたちは、打ちたたかれてこう言われた。「なぜ、おまえたちは決められた量のれんがを、昨日も今日も、今までどおりに仕上げないのか。」

質問：「なぜか？」神はなぜこのような方法でご自分の民を救おうとされたのでしょうか？ 神は救い出されるのですよ。でもなぜこれが起こるのを許されるのか？ なぜこれほどまでに悪化させ、困難な状況に追い込まれるのか？

理由は、民が救われたいと思うからです。

お付き合いください。監督下の条件がもっと耐えられるものだったら民は熱心に解放を望まなかったでしょう。第10の災いによってそれを知ることになります。事実、その話の詳細には、彼らは急いで立ち去った、ここから出ていくよう命令されたとあります。（出エジプト 12:33 参照）

「出て行けと言う必要はありません。自分から出て行きますよ。冗談ですか？」「お前たちは、カエル/frogs を発生させた。Farag(JD の姓) じゃなく、カエル。その悪臭だけでも、お前たちの災いのせいだ。」

しかし第10の災い、初子の死。お～大変力強いです。10の災いの全類型が。しかし、話が逸れたくありませんが、皆さん、点と点が繋がりますか？

「そう、わたしは民をエジプトから出さなければならない。唯一の方法は、、彼らは快適過ぎるからです。そう、彼らは奴隷なのです。なのに、彼らは捕えられた者や監督者とちょっとした絆を深めているようです。」「そうだったのですか？」「そう。」「どういう意味ですか？」「ええ、解放された後、荒野にいる間、民はまた戻ろうとします。彼らは、エジプト人監督者との絆、それに対する依存心がありました。」

「出エジプト記 16章 2節 3節」、エジプトでの奴隷状態から解放されて、たった2ヶ月半後のことが記されています。

一出エジプト 16:2-

そのとき、イスラエルの全会衆は、この荒野でモーセとアロンに向かって不平を言った。

一出エジプト 16:3-

イスラエルの子らは彼らに言った。「エジプトの地で、肉鍋のそばに座り、パンを満ち足りるまで食べていたときに、われわれは主の手にかかって死んでいたらよかったのだ。事実、あなたがたは、われわれをこの荒野に導き出し、この集団全体を飢え死にさせようとしている。」

少なくともエジプトでは、食料は、彼らに頼れるというのに。ええ、でもあなたがたは奴隷（人質）だったのですよ。しかし彼らは、ある時、ピザを注文してくれた。覚えていますか？ やり過ぎかな？

ただ、皆さんが点と点を繋げるのを助けようとしているのです。

「私たちは空腹だ。少なくとも監督者が食わせてくれたのに。」「規制を解除してくれて、少しばかり自由を与えてくれて感謝します。ピザを注文してくれたり、レストランに行ってお食べられるようになって。」OK。ここで置いておいて、聖霊にお任せします。あ、これはほんの一部です。私はここで、前述のストックホルム症候群に関する原則を確立しようとしています。「民数記 14章 3節 4節」、因みに、聖書をご存知の方、これは、イスラエルの民が神に、モーセとアロンに対して不平を言い、奴隷に戻ろうとした全記述のほんの一部です。民は、再び束縛の中に戻りたがりました。彼らはあの銀行の金庫室へ戻りたがり

ました。なぜなら、少なくともそこで何か食べることができたからです。今荒野にいて、食べ物がありません。ここで神が仰います。

「わたしが食べ物を提供します。わたしを見ていなさい。」「いいえ、私たちは、、、」

神は毎日欠かさずマナを提供されます。そしてどうなるでしょう？

「ああ、肉が食べたい。」(民数記 11:4)

エジプトでは食べれたのに。プライムリブが。皆さんお腹が減ってますよね？

—民数記 14:3—

なぜ主は、われわれをこの地に導いて来て、剣に倒れるようにされるのか。妻や子どもは、かすめ奪われてしまう。エジプトに帰るほうがわれわれにとって良くはないか。」

—民数記 14:4—

そして互いに言った。「さあ、われわれは、かしらを一人立ててエジプトに帰ろう。」

何ですって?! 当時は、ストックホルム症候群と呼ばれていなかったのは分かりますが、確かに今の世の中に関係する手引きに見えます。こんにちの世は、この世のエジプトとの絆を深め、依存するようになっていて、それは虐待の結果であり、生き残るために協力する必要性です。その協力が、そもそもこの事態を引き起こした人々への憎しみより優位になります。事実、この絆と依存に付随するのは防衛心です。私たちは自分自身の弁護団を立ち上げこの世のシナリオを守るため大変迅速です。ふむ。。

「だってつまり、彼らは私たちに厳しい規制を課しましたが、許可してくれるような親切な行為もあったし、そう、今はレストランに行くのにも飛行機に乗るのにも、接種しなくていいし、ありがとう。ありがとうね。あなたはとても親切で、感謝です。」

このことが、ストックホルム症候群へ話を戻します。どれほど不気味に、預言的に、正にこんにち起こっていることを描写するか。よろしければ、今日の残りの時間を使って、このことをもっと説明したいと思います。先に進むので、ここでユーチューブとフェイスブックでのライブ配信を終了します。

—本編—

ではこの点について、私たち全員が考えるべきことを、一連の具体的な質問でアプローチしたいと思います。これはある種のリトマス試験紙的で、言い方はマズいですが、私たちがこのストックホルム症候群なのかどうか診断するためのテストです。

1つ目。皆さんに、この質問を通して考えてほしいのは、どうか聞く耳を持ってくださいね。

1) 私たちは、私たちの自由と解放のため彼ら自身が作り出したものから、彼らが私たちを救うという旗印のもと、指導者を求めているのか？

2つ目。

2) 私たちは、彼らが課した脅威からの一時的な制限解除にこの悪の加害者、悪に感謝するのか？

繰り返しますが、私たちの生存を脅かす物理的・心理的脅威です。

3つ目。

3) コロナとそれが与え続ける虐待と拷問に、私は不安でいっぱい、混乱し、ストレスを感じ、恐れ、落ち込んでいるのか？

ええ、少しばかり休息、ちょっとした息抜きを得ました。お~完璧です。楽しんでください。

4つ目。

4) この悪魔的大虐殺の責任者の手による虐待や拷問の結果、私の気持ちは変わったのだろうか？
そして最後に5つ目。おそらくもっと重要なのが、皆さん、これは本当によく考えてほしいのです。

5) 私は、愛をもって私に対して真実を語る勇氣ある人に防衛的で闘争的な態度をとってきたのか？
同じ質問を違う方法で言います。私は加害者を擁護しているのか？ 誰かが私のところへ来てこう言います。「ねえ、あなたは人質になってるでしょ？ 束縛されてるの分かっていますよね？ 彼らがあなたを支配しようとしているのを知っていますよね？ それで、あなたはマスクを取って、彼らを擁護し始めるのですか？」

誰もがするのが、つまり「よくまあ、、、」と。彼らはあなたを愛しているから、そうするのです。そう、私たちはただ愛を持って真理を語るではありません。私たちは”愛がゆえに”真実を語ります。親御さんとして考えてください。あなたはお子さんを愛しています。お子さんを愛していなかったら、気にかけません。つまり、どうぞどうぞ。いいえ、私はあなたを大変愛している。言わなきゃいけないことがある。あなたが進むこの道。お～、正しいことだと感じるかもしれない。

「こんなに気分良いことが、どうしてこんなに間違っているの？」と。それが死の道です。あなたは惑わされている。私たちの関係や友情を危険にさらしてまで、あなたに真実を伝えるほど、私はあなたを愛している。

一箴言 27:6

愛する者が傷つけるのは誠実による。憎む者は多くの口づけでもてなす。

ちょうどこの事を考えましたが、お伝えしたほうがいいのかもかもしれません。今週の木曜日、19時から、週半ばの聖書の学び「エレミア書」で、今週は、御心なら27章と28章の2つの章を学びます。非常に興味深いのは、27章でエレミアは、4回以上言います。「彼らは偽りの預言をしている。」と。「彼らは偽りの預言をしている。」と4回言います。それから28章に行くとき書いてあるのは、「彼らは民に嘘を信用させている。」です。ええ、あり得ることです。それが、私が神の御言葉が大好きな点ですね。神の御言葉のどこにいても、それがあなたの人生のいる箇所です。神の御言葉は生きていて、力があり、どんな両刃の剣よりも鋭く、外科的に切ることができるからです。(ヘブル 4:12 参照)

「あなたがたは嘘を信じている。あなたがたは騙されているのです。私は真実を話しています。あなたはそれを聞かない。」

ふむ。。なぜ、あなたは苦しんでいるのに、悪の加害者を擁護するのですか？ なぜシナリオを擁護するのですか？ そんなに洗脳されているのですか？ 洗脳されることと、脳を洗うことは違いがありますよ。

「あら牧師さん、随分前に、私はあなたから離れました。」

でも考えてください。神の御言葉による洗い、心の一新、神の御言葉の水。この世と調子を合わせてはいけません。この世は、エジプトです。自分を変えてもらう。どうやって？ 心を新たにすることで。どうやって？ 神の御言葉の水で。ほら、私たちは洗脳されて来ています。今、私たちは脳の洗浄、心を新たにする必要があります。それが「ローマ人への手紙12章1節2節」ですよ。ローマ人への手紙を一節ずつ教えていた時、同じ箇所を2回教えた後、2週目に戻って、言わなければなりませんでした。

「ここにはまだ何かあるので、3節にはまだ行けません。」数週間ほどかけて、ローマ人への手紙12章1節2節を学びました。その後も「まだ何かある。」という感じです。ここには、心の一新について多くのことが書かれています。戦場は思考の中だからです。マインドコントロール、洗脳、プログラム、彼らは

私たちをプログラムしました。ちなみに、だからチャンネルのプログラムと呼ぶのです。う〜い〜う〜
(警報音) その話はしました。ハリウッドとは、、、ハリは、、、それよりさらに悪いです。惑わしです。偽りです。なぜそんなに擁護するのですか？ 私はあなたに真実を話しています。そしてあなたは全てを擁護するの？ あなたは支配側監督を守るの？ あなたは捕らわれているのに。あなたはエジプトを擁護するのですか？ 覚えていますか？ どうやら断片的記憶があるようですね。この同じエジプトが、ある日ビュッフェ料理でネギと玉ねぎをお皿に載せてくれたでしょう。たぶんそうしてくれたけれど、菓を自分たちで調達させ、レングを同じ割り当てで労働させたのも同じエジプトであることを忘れていたのでは？ また、あなたを虐待し、殴り、拷問し、苦しめたのが、同じエジプトであることを忘れていたようですね。なぜ彼らを擁護するのですか？ なぜ、彼らの為に弁護団を立ち上げるのですか？ 先に進めねばなりません。今日のこの「聖書預言・アップデート」の発端をお話ししましょう。約3週間前のこと、主との時間の、御言葉と祈りの中で、このストックホルム症候群をふと思い出したんです。私はそれについて読んだり、調べたりしたのを覚えています。それで、ちょっと記憶をたどってみることにしたんです。なんとなくどんなものか、少しは知っていたのですが、何かあるのは分かっていた、それで、色々調べて、自分のファイルにメモをして保存しました。「もっと多くの情報が必要ファイル」と呼びます。どのことだかわかりますか？ 情報を入れるファイルです。また再見するかもしれないと。で、そうしました。実は、ストックホルム症候群のノートは結構な量があったんです。

「うむ、これは、ストックホルム症候群にとっても似ているな。」と思いました。それで先週、親愛なる牧師の友人と電話で話しました。長い話の流れで、彼が言いました。「JD、これってストックホルム症候群みたいだ。」私はこうなりました。「そうだ！ピンポン！」その為の言葉がありますよね。「確信」です。バタバタしていて、時間がなくて、スタッフミーティングがあつて、それで彼にテキストを送って聞いたのです。「それについて、もう少し詳しく説明してくれないか？ 私も全く同じことを考えていたから。」もっと詳しく話を聞きたいんだ。」と。それで彼が話してくれて、ストックホルム症候群と、コロナの虐待と拷問について彼が書いたものを共有する許可をくれました。彼はこう言いました。

「人々は、最悪の虐待でも穏やかに抑制されることで、これまで以上に感謝するようになるのが分かった。精神的、肉体的、感情的にひどく、本当に虐待されたハワイの人々は、監督者やほんの小さな譲歩を祝福する。しかし、それは一方的な歯止めで、常に締め付け、決して大幅に緩められない。僕たちは、結婚生活で、虐待された妻だ。僕たちが虐待された配偶者なら、彼女はこう言だろうね。彼は私を仕事に行かせないし友人にも会わせないけど、それは私のせい。風邪をひいてしまったのがいけなかった。もっと知っておけばよかった。だからここ数日は、手をあげられていないのが感謝だわ。この比喻が明らかになれば、その類似性は不気味なほどだ。なぜ、そのような関係に留まるのか？ 虐待された妻症候群？ ストックホルム症候群？」

残念ながら、ストックホルム症候群にはもう一つの側面がある。加害者側の側面だ。被害者は従属的になる。が、加害者は増長していく。ストックホルム症候群とは、人間離れた虐待に耐えながら形成された倒錯した絆のこと。被害者は加害者を認識し共感し、加害者を庇うことさえあつて、僕たちの場合は、(聞いてください) 彼らに投票し続ける。」(会衆：そうだ。)

今すぐ祈りで締めくくれますね。それが良いでしょうね。しませんけど。そう簡単にはいきませんから。これには参りました。としか言いようがありません。この私の親愛なる牧師の友人は、別のテキストメッセージで次のように書き、これはある意味、諺をそのまま使ったもので私の口から諺を引き出しました。

引用します。

「極悪非道な事件や、秘密作戦にまつわる虐待を否定することで、僕らをこのような状況に追い詰めた。(彼と私という意味です) 僕たちは、目が開いている、全く別の陣営の者だ。僕は、物事をありのままに見ようとしなないミニストリーと交わりを持つことは、ほとんど不可能だと考える。僕たちは、トランスヒューマニズムへの最初の襲撃に抵抗してきたけれど、一方で、牧師を含む他の人々は当初から、新しい日常を受け入れている。2018年のように、無邪気に教会をしている牧師に話をするのは、僕にとって狂気の沙汰だ。爆弾が降ってくるのに、彼らは戦争中であることを見ようとしなない。そんな時代の真の交わりは稀で素晴らしいものになるね。目覚めて、声を上げてくれてありがとう。」

このような対話ができる牧師は、悲しい事に、片手で数えられるほどしかいないですよ。この数週間で、おそらくお気づきでしょうが気づかないわけありませんが、「聖書預言・アップデート」は、激しいものでした。共通しているのは、本当に終わりの時のおもな兆候、嘘と欺瞞です。皆さん、気づきましたか？ 増加している地震の事ではありません。起こっていて増えている飢饉の事ではありません。起こっていて増えている戦争や戦争の脅威や噂の事ではありません。疫病や民族が民族に敵対して立ち上がり、国が国に対して立ち上がっている事ではありません。その全てが、産みの苦しみのように、起こり、増えていき頻度と強度は増えますが。第一の兆候は、「惑わし」です。「惑わし」

「人に惑わされないように気をつけなさい。」(マタイ 24:4)

「惑わされないように気をつけなさい。」(ルカ 21:8)

「第二テサロニケ 2章」は、この点に関しておそらく最も強力な預言箇所です。使徒パウロは、聖霊によって、実際に具体的に非常に詳しく説明しています。時系列にして。最初に、携挙が起こらねばならない。

(II テサロニケ 2:3) 脱出です。霊的な出発。信仰から離れる事ではありません。それは後です。携挙は、物理的な脱出。それがまず起こります。「第二テサロニケ 2章3節」です。それから、反キリスト/不法の者/滅びの子が出現します。この不法の者については、こうです。彼は偽り、嘘、偽りのしるしと不思議を行います。(II テサロニケ 2:10)

「凄〜い！！あれ見た？わお〜」 イエスはそのことを仰いました。

「その日数、7年間の患難時代が短くされないと正に選ばれた人たちさえも欺かれる。」(マルコ 13:20 参照)

そしてさらに、「その日数が短くされなかったら、どんな肉にある者も助からない。」(マタイ 24:22 参照)

ですから、惑わしです。惑わされ、、これ聞いてください。信じられないのです。言い方はマズいですが。もっと良い言い方があれば、教えて下さい。でも、信じられない。理由は、神ご自身が強力な惑わす力を送られるのです。(II テサロニケ 2:11)

この強い欺瞞を。なぜそんなことをなさるのか？ 正しい事に聞こえない。公平に聞こえない。いいえ、彼らはもう心を決めていて、彼らは既に真理を拒絶しているのです。真理とは誰か？「イエス」です。彼らが真理を拒絶したから。イエスは、(その特定の) 真理です。あるひとつの真理ではありません。

イエスが(その) 道であり、(その) 真理であり(その) いのちなのです。イエスを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。(ヨハネ 14:6)

ですから彼らは、真理を拒絶しました。今や彼らは、その嘘へと自分自身を明け渡しています。彼らはその嘘を信じます。この強力な妄想(欺瞞)を。しかし、神は。あなたがたは悪を謀りました。しかし、神

は、それを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が救われるために。(創世記 50:20 参照)

なぜなら、それこそが、ある日、イスラエルに起こることだからです。さて、私がしたいのは、、再度、ご辛抱ください。私はそれを要約してみたいと思います。でも、この非常に重要な欺瞞との関連を明らかにする前に、欺瞞が、救いのきっかけです。待って。どういう意味？ ええ、7年間の患難時代、ユダヤ人国家は、救いに辿り着きます。いつなのか知っていますか？ 彼らが、嘘、偽の救世主を信じてきたことに気づいた時、それが欺瞞だったことに気づく時です。この欺瞞、偽り、嘘が、彼らを真理へ導くきっかけになるのです。イエスへと。その7年間の患難時代の中点/3.5年の時点、神が、今や真の救世主/イエス・キリストの下へ来るご自分の民を守られます。それから再臨が起こります。このため、敵は最初から、ユダヤ人のすべてのを絶滅、消滅、撲滅、全部”滅”、しようとしたのです。そうイエスは、言わば、あの血統からお生まれになりました。ですから敵が、あの血統を滅ぼせたら、不純物を入れ、DNAを変化させたら、初臨を阻止することができたでしょう。出来ませんでした。敵はまず、カインとアベルを使って、女の種を阻止しようとした。でも、アベルからではなく、セツからお生まれになりました。それから、それが歴史上すべて失敗して、旧約聖書を見ると、事実、エジプトのファラオの話をしましたね。ヘブル人の男子はすべてナイル川に投げ込まれ、確実にヘブル人を抹殺するため死なせました。あれは悪魔の仕業でした。サタンがユダヤ人を排除し、この民族から、この血統から、生まれる女の種を絶滅させようとしたのです。救われたモーセは、解放者キリストの型でした。聖書の中で私の大好きな書へ早送りします。聖書全部、全書大好きですが。でも「エステル記」。これを少し、木曜礼拝で話しました。ハマーン。悪魔に憑りつかれた男。彼は王に、すべてのユダヤ人を絶滅させ、消滅させるという勅命を出させました。モルデカイとエステルは、そういう時の為の人たちです。

「あなたがこれをしないなら、別のところから救いが来るだろう。」(エステル 4:14 参照)

しかしハマーンは、悪魔に憑依され、救世主が来られないように、その血統の神の民を排除しようとした。ええ、救世主は来られます。

「ではギアを入れ替えて再編成し、奴の再臨を阻止するぞ。」ヘロデ王です。(ベツレヘムとその周辺一帯の)2歳以下の男の子をみな、残念ながら、虐殺、殺させました。(マタイ 2:16 参照)

早送りします。これについて、すぐ詳しく説明します。あのアドルフ・ヒトラー。なぜみな、Hから始まる名前なのでしょう？ ハマーン、ヘロデ、ヒトラーと。気にしないでください。あくまで余談ですから。前世紀、悪魔に憑りつかれた(ヒトラー)この人物は、ユダヤ人を撲滅しようとして力を注ぎました。そう最後の、究極の、究極は、7年間の患難時代で全てのユダヤ人を滅ぼそうとする反キリストです。しかし、神は。しかし神は。

イスラエルはみな救われるのです。(ローマ 11:26)

そしてポイントは、再臨で、イエスは、イスラエルが呼び求める迄、来られません。ほら、サタンは、皆さんや私よりも聖書をよく知っています。でもそれが、聖書に書かれていることなんですよ。イスラエルはイエスを呼び求め、自分たちが突き刺し傷つけたイエスを見上げます。(ゼカリヤ 12:10/ヨハネ 19:37) イエスは、自分たちの罪のために傷つけられたのです。イスラエルは、自分たちの真の救世主を呼び求めます。それからイエスが来られます。誰と一緒に？ (JD 挙手中) 皆さんも挙手ですよ。携挙は、イエスが、私たちの為に来られ、再臨は、イエスが、何万人もの私たちと一緒に来られる。そうなんです!!! 待ちきれません。

よろしい。進行中の「聖書預言・アップデート」に戻りましょう。で、皆さん、私の意見に同意しますか？ 私が話している事が分かりますか？ 今、私が言おうとしたことは、もっといい言い方があるはずですけど、でも惑わしが、救いのきっかけです。

実現へと繋がります。「私は惑わされて、嘘を信じていた。それが私を真理、イエスへ導いた。」

この「聖書預言・アップデート」の全ポイントはそこなんですよ。イエスを人々へ、人々をイエスへ導く事。ですから一旦気づくと、

「ちょっと待って。は～なるほど、あのピザはそういうことだったのか。」分かりました。この例えはもう使いませんから。

「お～あなたは私を惑わしていた。で、私はあなたを擁護したのか?? あなたが仕組んだことだった。あなたがこれをしたのだ。私は惑わされていたんだ。」

先週、貴いキリストにある姉妹からメールが来しました。

「ねえ、JD 牧師。凄い！私は非常に惑わされました。もう違う。そのことが真実に気づかせ、私をイエスに非常に近づけました。私は今かつてないほど、御言葉の中に戻っています。」それがポイントなのです!!! それポイントです。

OK。では、敢えて言います。私たちは、誰もが気づきうる以上に、こんにち、その日に近づいています。木曜日のこの国連の報道が証拠です。聞かれましたか？ 前代未聞です。それは控えめです。全く前例がありません。イスラエルのラピド首相は、実際に 5 回目の政府樹立と政権維持ができる首相が見つかるまでだと思いますが、興味深くないですか？ ですからラピドは、首相代理と推測します。

「二国間解決策に戻る。」と発表。

前代未聞です。ミニストリーや「聖書預言・アップデート」に携わっている人はご存知でしょう。ご存知なのを願います。ご存知ないなら、知る必要があります。これが真理です。私は真理を話しています。

二国間解決策とは、ヒトラーの最終的解決策の包み直しです。最終的解決策とは何か？ “ユダヤ人撲滅”です。二国間解決策とは何か？ お～ユダヤ人とパレスチナ人が、隣同士で平和と安全に暮らす事。はっは。嘘つき！嘘つき！嘘つき！ では二国間解決策とは何か言いましょう。敵と共に平和を約束し、それから敵を滅ぼすこと。それはどこから来たのか？ お～、ヤーセル・アラファト氏。彼はアメリカに来ましたよね。レッドカーペットを広げて、あのクリントン元大統領が、、（失礼）イツハク・ラビン氏がいて、首相とヤセル・アラファトが、ホワイトハウスの芝生にいて、1993年9月です。覚えていますか？ 忘れられない9月。あらゆる9月が、忘れられない9月です。彼らは握手して、アラブ人には何の意味もありませんよ。そんな取引になりません。同じテーブルでパンを食べ、食事をしなければどうにもなりません。それが中東での取引の決定方法です。ただ握手をしていて、カメラに向かって見せているだけ。彼はラマツラに戻り、アラビア語で言いました。「我々の平和は、イスラエルの破滅だ。」で、歓声が上がっています。二国家間解決策とは、エルサレムの分割です。「ヨエル書 3 章 2 節」、「ゼカリヤ書 12 章」、「ダニエル書 9 章 27 節」、、、続けられます。実は「第二テサロニケ 2 章」もですよ。反キリストが再建された神殿に座り自分が神だと宣言する。そして忌むべき荒廃をもたらす。その時点が、イスラエルは、これが救世主ではないと気づく時です。それがイスラエルを真の救世主、イエス・キリストへ導きます。二国家間解決策は、エルサレム分割です。皆さん、私はそんな風に言いたくないんです。そう、本当に意地悪に聞こえますから。ではこう言います。皆さんの目の前で自分自身との会話を何と楽しんでいるのでしょうか。ええ、そうします。聖霊であってほしいです。でないと、問題になりますからね。

これは「世紀の取引」です。(※2020.02.02.【保存版】「聖書預言・世紀の取引」) これは「アブラハム合意」です。これはエルサレム分割です。世紀の取引の「主張と紛争の終結」は、「イスラエル人とパレスチナ人のエルサレムへの紛争を終結させる。」「待つ。すいませんが、イスラエル人のエルサレムへの主張を終結させる?? あなたはそれを神に確認したほうがいい。」

自分を抑えようとしています。だって、あの時計を見ていると、大嫌いです。神に感謝します。天には時計はありませんから。では、この国連の報道からいくつか引用します。

「木曜日、ヤイル・ラピド首相は演説し、”イスラエル・パレスチナ紛争の二国家解決は、イスラエルにとって正しいことだった。”と主張。」彼はこう続けます。”我々は、平和に暮らしたい。ただし、我々の安全を保障するものであるなら。”皆さんのその反応が嬉しいです。「第一テサロニケ人への手紙 5 章 3 節」に書いてあることですよ。皆さんよくご存知ですね。今更ながら「第一テサロニケ 5 章 3 節」を知りませんか? いやいや聞いてください。知っていたなら大丈夫です。「第一テサロニケ 5 章 3 節」はネタバレです。

—I テサロニケ 5:3—

人々が「平和だ、安全だ」と言っているとき、突然の破滅が...

突然の破滅とは、破滅が突然来る事を言います。意味深なのは分かっています。

...妊婦に産みの苦しみが臨むように、突然の破滅が”彼らを”襲います。(彼らは) それを逃れることは決してできません。

それが「第一テサロニケ 5 章 3 節」の語る事です。人々が「平和だ、安全だ」と言っているとき、、、この首相がこれを言っています!!!! 彼は、それを言っています。「平和、安全」と。ほお~突然!

(JD 天を見上げる) 突然の破滅が降りかかると、私たちは上にあがります。かかってこ~い! ここにあります。「頼みますよ。牧師さん、大げさだなあ。」OK。何でも構いません。

—引用—

「イランの核武装について、ラピド氏は次のように語る。”これを防ぐ唯一の方法は、見込みある軍事的脅威を机上に乗せ、その後、より長くより強力な取引をすることだ。”

これは「ダニエル書 9 章 27 節」「エゼキエル書 38 章」です。

OK。これで着地点に持っていこうと思います。これが結論です。こんにちの妄想と欺瞞は、このような結末になることを強力に預言しています。なぜなら、これが終わりだからです。私たちは終わりの時にいます。これが「聖書預言・アップデート」をする理由、福音と、子どもにでも分かる救いの簡単な説明「救いの ABC」で締めくくる理由です。形式ではなく、イエス・キリストにある救いの良い知らせを説明する一つの方法です。「第一コリント 15 章」最初の 4 節、

イエスが(地上に)来られ、あなたの為に、私の為に(十字架で)死なれ、あなたの為に、私の為に全代価を支払ってくださいました。イエスは葬られ、3 日目によみがえられました。そして、ある日戻って来られます。それが良い知らせ、福音です。福音という言葉の意味が良い知らせです。

「あなたの負債は支払われました。あなたは自由です。」

子(イエス)があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。(ヨハネ 8:36)

では、A:自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

繰り返しますが、形式ではありません。これを形式にしないでください。福音を説明する一つの方法なだけです。考えれば、この A が最初の第一歩です。自分が罪びとだと認める迄は、なぜ救世主に興味を持

ちますか。通りの人に、「あなたは天国に行くと思いますか？」と聞くと、どんな答えが来ますか？

「ええ。私は善良な人間です。誰も殺したことはないし。」いいえ、あなたは殺したことがあります。イエスがハードルを上げられました。「マタイの福音書」にあります。あなたは心の中で殺人を犯しました。十戒の一つを破っただけで、実際に全部破ったことになります。たった10個なのに、30個ほど破っていますよ。しかし何であれ、あなたは神の法を破っているのです。それには罰則があります。

ローマ人への手紙 3章 10節 に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3章 23節 がその理由、

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは誰しも、生まれながらに罪びとです。ですから、イエスが仰るように、神の御国に入るためには、新生しなければなりません。ローマ人への手紙 6章 23節、先に悪い知らせと、それから良い知らせがセットになっています。悪い知らせとは？ 罪に罰則がある事、死の罰則です。

「罪の報酬は死です。」（ローマ 6:23a）

しかし、良い知らせがあります。

「神の賜物（贈り物）は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b）

それが A です。次が B、中心なんです。ABC よりもシンプルだと言えるかもしれません。B : Believe/信じる。だけです。

—ヨハネ 3:16—

神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を”信じる”者が、...

罪の赦しの為にイエスに信頼を置く者が、

...一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ローマ人への手紙 10章 9-10節

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」最後に C、C : 主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

再度、ローマ人への手紙 10章 9-10節

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

その理由は、

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

最後に、ローマ人への手紙 10章 13節、大好きです。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

イエスを信じた結果、生じるのが、呼び求める事ではないですか？私の場合は、40年以上前です。計算しないでください。私は5歳でした。本当はもっといってましたが。では今日の「しかし、神は。ストーリー証」に入る前に、オンライン見ている人か、またはこの教会に来ている人かに伝えたいのは、あなたが主の御名を呼び求め、主を信じ、主に信頼を置いたことがないなら、ただこう伝えること以外に、何を言えばいいのかわかりません。もう時間がありません。今がその時です。今日が救われる日です。永遠のいのちという人生で最も重要な決断をなぜ先延ばしにするのですか？

「ええ、でも牧師さん、もっと他に何かする必要はないのですか？ 私がするのは、主を信じるだけですか？ それだけでいいですか？」はい。それだけです。罪の赦しの為、イエスに信頼を置く事。みんなに起こることはこうです。私たち一人ひとりが、偉大な終わりの日に、主の御前に立つことになります。どんなにいい人生を送ったか、何をしたか、何を持っていたかは関係ありません。問題となるのは唯一、イエス・キリストにあなたが何をしたかです。(信じたかどうか) 自分の義では、主の御前に立つことはできません。イザヤ書(64:6)に生々しく、「その義は、不潔な衣」とあります。

天国に入るのが許されるには、あなたが自分で稼げる事は何もありません。賜物(贈り物)なのです。贈り物とは稼ぐものではありません。自分が支払いません。あなたが支払うなら、贈り物ではなく、購入した物です。イエスが支払われ、贈り物を購入下さいました。あなたは代価を払って買い取られたのです。イエスが代価を払って。最後に「エペソ人への手紙2章8節から9節」

「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、「神の賜物」です。行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。」

私は切に願います。今日、あなたが誰に仕えるかを選ぶ事を。エジプトから出てください。彼らがピザをくれようと、気にしません。ピザの例えは使わないと言いましたけど。では、スパイシーアヒポケでも何でも構いません。そう、良いですね。

では、今日の、「しかし、神は。ストーリー証」メーガン・ハスキンスさんからです。

「こんにちは、JD。9.11の預言・アップを今、見終えました。ただお礼が言いたかったのです。あなたが最後に仰ったことが心に響き、涙がこぼれました。2週間ほど前の事、私は人生で最も暗い所にいました。この夏、私の人生は、夫や子どもたち、親戚、友人たちとの間で、多くの山あり谷ありでした。敵やその手先は、最近私の鎧の隙間に目をつけ家族を利用して、私を価値のない人間のように思わせています。そんなつもりはなかったのですが、結果的にそうになってしまいました。それから数日間、自分がなぜここにいるのかわからなくなりました。私が努力してきたのは何のためだったのだろうか。初めての事です。本当に全てを終わらせようとまたは消えようと思いました。そうすれば、もう失敗はないでしょうから。しかし、神は。大変良いお方です。その日、何が起こるかご存知でした。私が一番低いところにいる必要があることを、正にご存知でした。以前、レイバー・デーの週末に、家族や友人と集まる計画を立てようとしたのですが、すべての計画が失敗に終わってしまい、とても悔しい思いをしました。その前の週末、教会での女性の朝食会に申し込んでいましたが、家族の予定でうまくいかないだろうと予想していました。結局、母夫婦が子守までしてくれて、母と私は、一緒に朝食会に行くことができました。その日主が、一緒に祈ってくれたキリストにある姉妹たちの腕を通して、私を慰めてくれました。初対面の姉妹も、トイレで一緒に祈ってくれました。主のご臨在が、私を包み込み、自殺や逃げ出すという考えをそぎ落としてくださいました。私の周りには傷つけるような嘘ばかりでした。主は、キリストにある私を思い出させてくれました。愛され、十分な価値があり、赦されている。私のことを気にかけてくれて、私のことを好きでさえられる王の娘です。(それ好きです。神はあなたが好きですよ。そう、神はあなたが好きです。神はあなたを愛しておられますが、あなたを好きなんですよ。「好き」が「愛する」よりもずっとパンチが効いているなんて、何と悲しい時代にいるのでしょうか。) 励ましをありがとうございます。このような大変な時代に見張り人として、人を恐れず、神を畏れておられる。大好きです、兄弟。これからも良い戦いを続けてください。メーガン・ハスキンスより。」

カポノは上がってきてください。皆さんご起立ください。一拍手喝采

主を褒めたたえます。この女性が参照している 9.11 の預言・アップを締めくくる際に、「自殺」を指摘するよう、聖霊からの示唆がありました。そうするたびに、それを聞いている人、見ている人の中で、考え直した人がいるのを実感します。今日も再度、締めくくる前に言いたいと思います。自殺が答えではありません。

イエスが答えです。イエスが答えです。

どうか、そう、絶望に苛まれ、望みがなくとも、それがあなたをイエスの下へ導くのです。イエスの下へ来てください。恐らく、イエスの下へ戻るといふ人もいます。あなたは迷い込んで、道に迷っています。戻ってください。イエスは両手を広げて待っておられます。イエスがあなたを愛し、慰め、導き、力づけ、励まして下さいます。

天のお父様。ありがとうございます。感謝してもしきれません。お～イエス様、イエス様、イエス様。イエス様、ありがとうございます。主よ、自殺を、自分の命を奪う事を考えているかもしれない人に、どうか主よ、今すぐ、あなただけが御出来になられる方法で、いつも大変ご忠実であられる通り、ご自身を明らかになさってください。主イエスよ、お願いします。救って解放してくださいますように。イエス様、どうか早く来てください。イエス様、どうか早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7